

校 園 名：富山大学人間発達科学部附属小学校

キーワード：公立校教員の研修に貢献する学校

1 本校における研修の公開

○本校全教員による教育研究発表会を春・秋に公開。特に、今年度からは、研究主題を「深い学びの実現に向けた教育課程の創造」と改め、公立校のニーズに応じた理解しやすい研修になるよう努めている。



○本校では、今年度、新たにタブレットPCを1クラス分導入した。それに伴い、大学の専門家を講師に招き、有効な使い方やセキュリティーについての校内研修会を3回実施する。「タブレットPCが導入されても、授業でうまく使えるかどうか心配だ」「ウイルス対策をはじめ、どのように管理すればよいのだろう」「プログラミング教育の指導が不安だ」という声が公立校教員から聞こえてくる。本校の校内研修会を公開し、公立校教員と共に学ぶ機会を設けることで、公立校教員の不安の軽減にも寄与したい。

2 県教育委員会や県小学校教育研究会（公立校教員が全員参加）への協力

○県教育委員会主催の「校内研修活性化研修会」等の研修会への講師及び授業提案等を通して、授業分析の仕方や事後協議会の持ち方等を公立校教員に伝えている。また、6年次教員研修会「先輩に学ぶ研修」の先輩指導者となったり、スーパーサイエンスハイスクール事業の指導者になったりしている。さらに、免許更新講習に係る授業と協議会を提供している。

○県小学校教育研究会（教科ごとに15研究部会）において、本校の教員を11の研究部会の副部長や専門委員として派遣している。部会運営や指導の中心となり、公立校教員の授業力向上に役立っている。また、学力調査や県独自の思考大会の作問委員や分析委員としても貢献している。

3 教職大学院との連携（計画中）

○教職大学院で学ぶ学生（以下、「院生」）は、県内市町村教育委員会が派遣した将来の富山県教育を担う有望な教員である。その院生の実地授業の場として、本校を使う。

○院生に、本校の研究発表会や校内研修会に研究協力者として参加してもらい、公立校の立場から意見を求める。院生と共に、本校の研修を深めることで、院生が勤務校に戻ったときに、本校の研修を広げてもらうことも期待できる。

4 その他

○教職を目指す大学生の資質向上を図るため、インターンシップ制度を設け、授業を担当せずに、授業観察、生徒指導及び学級事務補助等を行い、児童や教員と接しながら、教員の仕事を学び、体験している。



問い合わせ先：富山大学人間発達科学部附属小学校 〒930-8556 富山県富山市五艘 1300 076-445-2803